

# 習志野市教育委員会 学校教育だより

テーマ 拍手喝采



<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/gakkyodayori.html>

習志野市鷺沼 2-1-1 電話 047-451-1151 (代表) 平成31年2月13日発行 NO. 102

## 習志野市小中学校 席書大会



小学3年生～中学3年生



小学1年生



小学2年生

平成31年1月13日(日)に、今年度の新しい取組として、小・中学校の各校の代表者が集まって、席書大会が行われました。

たくさんの児童生徒や参観者がいたにもかかわらず、筆を持ち書き始めると会場は緊張感と静寂に包まれました。どの児童生徒からも作品への集中力の高さと気迫が伝わり、質の高い席書大会となりました。

### 頑張る習志野っ子に 拍手喝采!



#### 第102号 目次

- ★席書大会・表彰式 … 2
- ★七草マラソン・音楽発表会 … 3
- ★防災学習 … 4
- ★成人式典 … 5
- ★習志野高校・教育長コラム … 6



# 小・中学校書初展

## <席書大会>

習志野市東部体育館と総合教育センターのドーム館にて行われました。



「始筆や終筆を丁寧に表現する。」「字形を正しくとらえる。」「筆脈が見える作品にする。」「バランス良く堂々と書く。」「名前も上手に書く。」などを意識し、新年へ決意あふれる作品を仕上げることができました。

作品を提出する時には笑顔になっている児童生徒もおり、持てる力を注ぎこんだ様子が伝わってきました。一人一人の自信につながっていくよい経験となりました。

## <特別賞 授賞式>



席書大会から11名の特別賞が選ばれました！

授賞者の皆様、おめでとうございます！



習志野市長賞

習志野市議会議長賞

教育長賞

小・中学校長会長賞

幼・小・中文化連盟会長賞

習志野市PTA連絡協議会長賞

特別支援教育研究連盟理事長賞

学年賞

小林 愛佳 (屋敷小6年)

鴨志田 仁胡 (屋敷小4年)

池田 咲陽 (第六中1年)

那智 皓太郎 (大久保東小2年)

森岡 莉々花 (第七中2年)

三橋 恭 (袖ヶ浦西小3年)

君野 颯琉 (袖ヶ浦西小3年)

仙田 千夏 (大久保東小1年)

杉田 果穂 (第三中3年)

小倉 洸希 (第四中1年)

宇部 愛海 (津田沼小5年)





# 第45回 習志野市七草マラソン大会



小学生女子1・2年 1.2 km



小学生男子1・2年 1.2 km



小学生女子3・4年 1.6 km



小学生男子3・4年 1.6 km



小学生女子5・6年 2 km



小学生男子5・6年 2 km



中学生女子 3 km



中学生男子 5 km

1月13日（日）、絶好の天気とコンディションに恵まれて、第七中学校周辺で第45回習志野市七草マラソン大会が開催されました。地域の方々の協力と声援のもと、市内外の小中学校から数多くの「韋駄天」<sup>いたてん</sup>たちが参加しました。

**おめでとうございます!**

【各部で1位に輝いた子供たち】

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 小学生男子1・2年 | 川西 大地 (MSS 香澄)  |
| 小学生女子1・2年 | 三巻 真穂 (大久保小)    |
| 小学生男子3・4年 | 大嶋 千翔 (大木戸小)    |
| 小学生女子3・4年 | 麻生 成美 (土気 AC)   |
| 小学生男子5・6年 | 永峰 陽彩 (土気 AC)   |
| 小学生女子5・6年 | 古賀 向日葵 (習志野NBS) |
| 中学校男子     | 佐藤 渉 (城北中)      |
| 中学校女子     | 谷川 凜 (第一中)      |

## あしたのハーモニーが響くまち 習志野市

### 習志野市小中学校音楽会

1月17日（木）、習志野市小中学校音楽会が開催されました。例年は7月に開催していましたが、今年度は習志野文化ホール改修工事の関係で1月の開催となりました。市立全ての小・中学校から学校を代表して子供たちが習志野文化ホールに集まり、日頃の授業や部活動で練習を重ねてきた合唱や合奏を披露しました。

特に中学校は、3年生が受験期間のため、1・2年生での演奏でしたが、迫力があり、豊かな表現力で観客は魅了されました。音楽のまち習志野のレベルの高さを感じる音楽会でした。



合唱発表



合奏発表



会場全体の様子

写真提供：株式会社フォトライフ



# 防災学習発表会

みんなの命を守るためにできること



## 実籾の防災Book



エコノミー症候群対策



防災士さんへ説明



非常時に必要なもの



危機管理監の講話



AEDの使い方



地震について解説

準備しておくといいい物

- 水 (1日2リットル、ひとり3日分)
- 食品 (ひとり3日分)
  - カップラーメン
  - 缶詰
  - おむすび
  - おにぎり
  - チョコレート
- 粉ミルク (赤ちゃん用)
- 身分証明書
- 簡易トイレ (①・通帳)
- 充電式などのラジオ
- 軍手&手袋
- カセットコンロ (できれば)
- 懐中電灯
- ガスボンベ
- ポリール袋
- 常備薬
- ライター
- 予備の乾電池
- 食品包装用ラップ
- 携帯用カイロ
- 携帯用バッテリー
- 救急箱
- ティッシュペーパー
- ウエットティッシュ
- ハンカチ

災害用電話ダイヤル(171)

無事の場合は電にん  
みくおんせいせい

やり方  
自分の家の電話番号を→ → みるおんせいせいを  
(例) 00はかかるとかかれないよ  
その家の電話が家の電話番号もかけるとかかんなしのかかれないよ

### 地図



AEDの場所 大久保保育所・大裏にもあり

平成30年12月19日(水)に実籾小学校6年生による防災学習発表会が行われました。総合的な学習の時間で「防災学習」をすすめて、みんなの命を守るために調べてきたことを発表することができました。習志野市の危機管理監や防災士から助言をいただきながら、保護者や地域の方々へ防災意識を広め、学んだことを伝える姿はとても素晴らしかったです。児童が作成した「実籾の防災BOOK」の一部を御紹介します。非常時に備えておくといいい物やAEDの設置場所がまとめられています。様々な視点から良い学びの機会となりました。

# 平成31年 成人式典



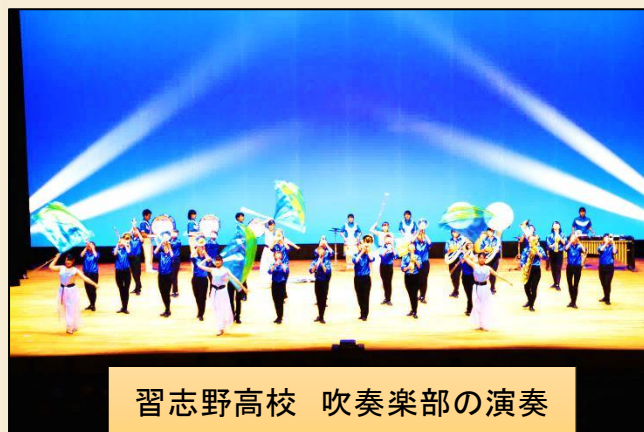
市長挨拶



平成31年 成人式典・新成人を祝う集い

実行委員のみなさん

祝 御成人おめでとうございます！



習志野高校 吹奏楽部の演奏



華やかな会場

平成31年1月14日(月)に平成の年号では最後となる成人式典・新成人を祝う集いが行われました。実行委員が中心となり、会を盛り上げ、大成功となりました。習志野高校の吹奏楽部による演奏、クイズ大会、抽選会など充実した内容でした。新成人の一人一人の表情が生き生きとしており、輝いていました。恩師や級友との再会をうれしそうにしている姿や、家族と一緒に成人したことを喜んでいる姿がとても印象的な一日でした。

新成人が生まれた年、今から20年前の出来事を振り返ってみましょう！

1998年 冬季長野オリンピック開催 第16回サッカーW杯仏大会に日本初出場

映画「タイタニック」ブーム Windows98発売 郵便番号7桁化 など

1999年 ダイエーホークスが26年ぶりパ・リーグ優勝 アイボ(犬型ロボット)発売

ヒット曲「だんご3兄弟」 地域振興券の支給 など





# 習志野高校

## 子供たちに甚平のプレゼント

習志野高校では、3年生の選択科目「家庭科研究」において、幼児用の甚平を製作し、各所へ寄贈する活動をしています。

これまで、2011年は東日本大震災で被災した保育所に、2012～2017年はケニア・バングラデシュ・フィリピンや県内の乳児院に寄贈し、感謝状や心温まるお手紙を頂戴してきました。本年度も、船橋にある「アライカパ友の会」の地域ボランティア団体の力をお借りし、フィリピンのスラム街に住む子供たちのところへ寄贈する予定です。昨年11月には、その寄贈に携わってくださる「アライカパ友の会」代表・加藤信子さんをはじめ、フィリピンからノエミさん・エミリーさん他の方々が来校し、お話をしてくださいました。生徒たちからは以下のような感想が聞かれ、製作意欲が大いに喚起されたようです。

- ・「フィリピンからわざわざ来てくださってお話を聴くことができ、良かったです。」
- ・「先輩方が作った甚平をものすごく喜んでいたので、私たちも心を込めて作ろうと思います。」
- ・「貧しい生活を送っている子供たちが沢山いて、その子供たちが大変喜んで話を聞いて心が温かくなりました。」
- ・「現地の子供たちの笑顔を思い浮かべながら、ひと針ひと針心を込めて作りたいです。」



## 好きですふるさと習志野 教育長コラム

「不登校対策が本校の第一の課題です。」1月の校長先生方との面談において、出された話題の一つです。「では、そのために取り組まれていることは？」という質問に対して「私（校長）自身が不登校傾向にある子供と面接を行っています。」「PTAの協力を得ながら関係の保護者会を開催し、情報交換を行っています。」といった答えが返ってきました。子供たち一人一人を大切にしていることがよくわかりました。

一方で、児童虐待により子供が亡くなるといった痛ましい事件が県内で起きてしまいました。学校ができること、すべきことは何だったのか？関係機関との連携は？……いろいろと考えさせられました。また、本市においても、いじめ問題はゼロにはなりません。全ての子供たちを大切にすること、安全・安心を守ることは学校教育の根幹です。そのための時間の確保が重要となります。「最も大切なことのためにこそ力を注ぐ……」使えるエネルギーと時間は有限です。だからこそ、その貴重な力をどこに注ぐのか、その選択と見極めがこれまで以上に求められています。

各学校・園においては、次年度の教育課程、学校・園経営の方針が策定される時期です。「習志野（自校・園の）教育の良さ」を全面に出すことはもちろんのこと、子供たちの内面の問題にも対応できるよう、学校・園全体の教育活動の見直しについては、大胆な発想で取り組む覚悟が必要だと考えています。

（教育長 小熊 隆）